



発行：国家公務員共済組合連合会 三宿病院 〒153-0051 東京都目黒区上目黒5-33-12 TEL 03-3711-5771(代)

■ ■ 三宿病院血液内科のご紹介 ■ ■

血液内科 島津 浩

三宿病院血液内科では、一般的な血液の異常をはじめ、急性白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの造血器腫瘍の診断および治療を行っております。当院は総合病院であり、様々な合併症を抱えた患者さんであっても他の科と連携し、適切に対応が可能です。またリハビリにも力を入れており、体力が落ちた患者さんや高齢の患者さんであっても、化学療法と並行しながらリハビリを行うことによって、化学療法を続けることが可能となっております。近年では、これらの造血器腫瘍の治療やその支持療法が進歩しており、80歳を超えた超高齢の患者さんであっても、治療を行うことが可能になってきていますが、その際には病気の進行によって落ちてしまった体力を回復させながら、一人一人の患者さんの臓器予備能を正確に評価し、適切な治療強度を保って治療をしていくことが求められています。

今回は、多発性骨髄腫の治療の進歩を例にお話したいと思います。図は、日本骨髄腫学会から報告された多発性骨髄腫の患者さんの生存率ですが、1990年～2000年の期間より2001年～2012年の期間で生存率の著しい改善が見られています。これは、2005年頃より新規薬剤であるプロテアソーム阻害剤ボルテゾミブ・免疫調整薬レナリドミドが治療に使用できるようになったのも理由の一つです。近年では、さらに新規薬剤が承認され、ここ数年でカルフィルゾミブ・ポマリドミド・エロツズマブ・ダラツムマブが使用できるようになりましたので、さらなる予後の改善が期待できるようになるものと思われます。当院では、こうした最新のエビデンスをとりいれつつ、患者さん一人一人にあった治療を選択していくことを大切にしていきたいと考えております。

日本における全生存年次推移

(Osaki S, et al: Blood Cancer J 5:e349,2015)

